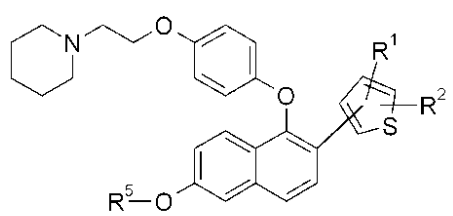
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

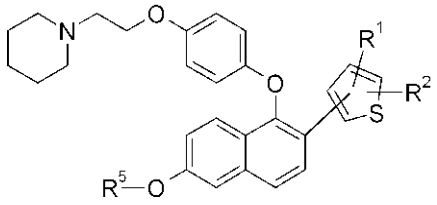
【公表番号】特表2012-504124(P2012-504124A)
【公表日】平成24年2月16日(2012.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2012-007
【出願番号】特願2011-529068(P2011-529068)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 333/16　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/28　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/22　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/38　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4535　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 333/16　ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ 333/28
Ｃ０７Ｄ 333/22
Ｃ０７Ｄ 333/38
Ｃ０７Ｄ 333/18
Ａ６１Ｋ 31/4535
Ａ６１Ｐ 19/02
Ａ６１Ｐ 43/00　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成24年8月31日(2012.8.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式
【化１】

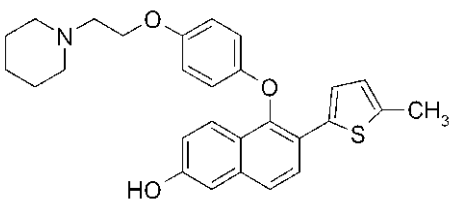


（式中、
R^1は、Ｈ、－C_1－C_4アルキル、Ｆ、Ｃｌ、－ＣＮ、－Ｃ（Ｏ）R^3、－（C_1－C_3アルキル）ＯＨ、－ＯＣH_3、－Ｓ（Ｏ）$_2R^4$、－Ｓ（Ｏ）CH_3、－CF_3、および－Ｓ（C_1－C_3アルキル）からなる群より選択され、
R^2は、Ｈ、Ｆ、およびＣH_3からなる群より選択され、

R^3は、ＯＨ、－ＯＣＨ$_3$、－ＮＨ（Ｃ$_0$－Ｃ$_2$アルキル）、ＣＨ$_3$、－Ｎ（ＣＨ$_3$）$_2$からなる群より選択され、
R^4は、－Ｃ$_1$－Ｃ$_4$アルキル、－Ｎ（ＣＨ$_3$）$_2$、および－ＣＦ$_3$からなる群より選択され、
R^5は、ＨおよびＣＨ$_3$からなる群より選択される）
の化合物、またはその薬理学的に許容可能な塩。
【請求項２】
式
【化２】



（式中、
R^1は、Ｈ、－Ｃ$_1$－Ｃ$_4$アルキル、Ｆ、Ｃｌ、－ＣＮ、－Ｃ（Ｏ）R^3、－（Ｃ$_1$－Ｃ$_3$アルキル）ＯＨ、－ＯＣＨ$_3$、－Ｓ（Ｏ）$_2$$R^4$、－Ｓ（Ｏ）ＣＨ$_3$、および－Ｓ（Ｃ$_1$－Ｃ$_3$アルキル）からなる群より選択され、
R^2は、Ｈ、Ｆ、およびＣＨ$_3$からなる群より選択され、
R^3は、ＯＨ、－ＯＣＨ$_3$、－ＮＨ（Ｃ$_0$－Ｃ$_2$アルキル）、ＣＨ$_3$、－Ｎ（ＣＨ$_3$）$_2$からなる群より選択され、
R^4は、－Ｃ$_1$－Ｃ$_4$アルキル、－Ｎ（ＣＨ$_3$）$_2$、および－ＣＦ$_3$からなる群より選択され、
R^5は、ＨおよびＣＨ$_3$からなる群より選択される）
の請求項１に記載の化合物、またはその薬理学的に許容可能な塩。
【請求項３】
R^1が、Ｈ、Ｃ$_1$－Ｃ$_4$アルキル、Ｆ、Ｃｌ、ＣＦ$_3$、－ＣＮ、－Ｃ（Ｏ）R^3、－Ｓ（Ｏ）$_2$$R^4$、－Ｓ（Ｏ）ＣＨ$_3$、および－ＳＣＨ$_3$からなる群より選択される、請求項１に記載の化合物。
【請求項４】
R^1が、－ＣＨ$_3$である、請求項３に記載の化合物。
【請求項５】
式
【化３】



の請求項１に記載の化合物、またはその薬理学的に許容可能な塩。
【請求項６】
前記塩が、塩酸塩である、請求項５に記載の化合物。
【請求項７】
薬理学的に許容可能な担体および請求項１に記載の少なくとも１つの化合物を含む、医

薬組成物。